

崎定  
長検

一級  
さん

Vol.6

# 長崎大好き！ 坂本紘一さん

合格率四・八％…。長崎歴史文化観光  
検定の最難関を突破した一級ホルダー！  
その卓越した識見には、なにやら一家言  
ありそうです。  
まっくはらんに寄稿願いました。

長崎生まれの長崎育ち。地元長崎の色々な事に興味がありどれだけ長崎の事を知っているか、物は試しといった軽い気持ちで受験した。六十数年ほとんど他所に出ることもなく

長崎で生きてきたので、長崎の地理や風習などはある程度知っているつもりでいた。現役時代は職場が出島のすぐ近くで昼休み時などはよく散策したが、その歴史的な役割などにはほとんど関心がなかった。(もっとも当時の出島は市街地に完全に埋没してしまっていたが)

七年前からボランティア観光ガイドに従事するようになり、改めて長崎の歴史や文化などを勉強するようになった。

昨年の受験に当たっては、暮れから正月返上で毎日のように公式テキストやセミナーのレジュメと首つ引きで、何十年前も前の大学受験以来の猛勉強をした。その甲斐あって何とか合格できたが、今でもたまたま運が良かっただけだと思っている。

パソコン利用などで日頃文字を書く機会が

少なくなり、読めはするが、いざ書くとなると書けない文字が多い。しかも固有名詞がほとんどで一点一画正確に記すとなると並大抵ではなかった。

合格発表後、TV報道でクロップアップされた私の姿を見て、知人は勿論それまで顔は見知っていても一言も言葉を交わしたこともなかった多くの人から、「合格おめでとう」と言われ、その反響の大きさに驚くとともに、世間の関心がいかに高かったのか痛感した。

住居が近いせいもあり、よく「聖福寺」を訪れる。こじんまりした寺院だが静かで趣があり心安まる空間である。従来から三福寺程には市民にも認知されていなかったが、映画「解夏」以後、そのロケ地としてガイドブックを片手に訪れる若者の姿を見かけることが多くなった。数年前までは皆無に近かっただけに嬉しい限りである。趣味の水彩画のモチーフとしても数多く描いている。

長崎はポルトガル船を迎え入れるために開かれ、その後、町として発展してきたと考える

ならただかだか四四〇年程の歴史だが、その間に色々な要素が凝縮されている魅力にあふれた町だと思う。それを誇りに思うとともに、先人に恥じぬような長崎人として生きていきたいと思っている。

一級合格者だから何でも知っているだろうと、色々な質問を受けることが多いが、知らない事の多さになお一層勉強しなければと自戒している。

長崎大好き人間としては、他県の人に長崎の良さをもっとPRしていかねばと思っはいるが、それよりもまず地元の人に、長崎の事を知るために、もっともっと「さるいて」頂けるようお手伝いをしていきたいと思っている。



## 【プロフィール】

1941年 長崎市生まれ 67才  
長崎大学経済学部卒 西坂町在住  
現在長崎さるくガイド  
趣味は水彩画・旅行・映画鑑賞